

**安全**



**安心**

# JAL不当解雇撤回ニュース

No 058 号 2011.09.10  
 発行:JAL解雇撤回国民共闘事務局  
 連絡先:航空労組連絡会事務局  
 〒144-0043 大田区羽田 5-11-4  
 フェニックスビル内  
 TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819  
<http://www.phenix.or.jp/jkkk/>

## 片山元管財人、羽生元労務部長、小田元運航企画部グループ長を証人尋問 「解雇の必要性はなかった」が明白に 整理解雇の4要件を踏みにじってきた会社対応を鮮明にした小川副委員長

9月5日、乗員裁判の第5回口頭弁論(証人尋問)が終日にわたり行われました。会社側証人の片山元管財人、元運航企画部小田グループ長、羽生元労務部長に対する主尋問と反対尋問、原告側証人である小川洋平乗員組合副委員長への主尋問が行われました。裁判に先立ち地裁前で行われた宣伝行動には93名が参加し、お昼の報告集会には88名、そして尋問終了後の報告集会には116名が詰めかけました。



写真:いよいよ証人尋問。入廷する乗員原告団のみなさん(東京地裁前にて)

## 報告集会:弁護団の報告と小川副委員長の感想

### これだけリスク耐性を有し解雇した例あるか? 元管財人なのに片山氏は答えられず

片山証人を尋問した船尾弁護士

私は「リスクに耐えるためには余剰人員を排除しなければならない」と、解雇を正当化する片山氏の論理に乗った上で、具体的な経営データを基に論証していきました。尋問を通じて、解雇を回避するだけの財源があつたこと、事業規模縮小に伴う人員削減だとしても、人件費削減目標を200億円も超過する削減をする等、バランスを欠いたものであること、今後の航空需要増に照らし正当化できないこと、組合と誠実な交渉も行わず解雇を強行したこと、等が明らかにされました。最後に、片山氏は「事前調整型の更生手続きで解雇は当たり前」と大見得をきましたが、「財務上これだけのリスク耐性を築いている中で、整理解雇を行った事例があつたか」と言う追求に、彼は答えることができませんでした。

### 証言で「安全」は一言もなかった

小川証人を尋問した安原弁護士

人員削減目標が乗員計画に則ったものであったのか、解雇回避措置はとられたのかを柱に尋問をしました。その中で経営の失敗により失った信用を回復するために、何の責任もない労働者に責任を負わせた不当性を明らかにすることができました。管財人の論理は、有効配置数-必要数=余剰人員としていますが、運航維持や安全を支える上で、会社の言う「余剰人員」が単純に「余剰」とは言えず、明らかに恣意的な解雇であったことがはっきりしたと言えます。小川証人は、安全運航を直接支える運航本部の人間でありながら、最後まで彼の口から「安全」という言葉がありませんでした。これは、会社の姿勢を端的に表していると思います。

## 人選基準には「合理性」がない

羽生元労務部長を尋問した堀弁護士

片山氏の尋問を聞いていて、機構がこれからいかに儲けて上場をし「一件落着」としていくかという、ストーリーが判かりました。「債権者との約束で整理解雇した」と証言する一方で、「債権者は解雇しろとは言っていない」という片山証言の矛盾を船尾先生は引き出しました。誠実交渉の実態はなかった訳で、機構の一人相撲による整理解雇であることが鮮明になりました。また人選基準では、「どこかで線引きをせざるを得ない」と証言した様に、「合理性」がないことを引き出すことができました。解雇の必要性がなかったことが益々明らかになりました。

## 職場の感情・気持ちを伝えた

小川副委員長の感想

昨夜はなかなか眠れず緊張しましたが、気合を入れて臨みました。交渉経過を踏まえ、整理解雇の4要件を踏みにじる会社姿勢に対する職場の感情を一番伝えたかった。その気持ちをどう言葉にして伝えるかに力を置きました。皆さんの拍手を聞いて、裁判長に伝わったと思いました。13回にも及んだ交渉の責任者として、組合が提案した解雇回避措置を、会社は一顧だにしなかった事実も明確にできました。また、解雇の背景となった航空業界の事情も理解させたと思います。これからも、がんばりましょう。



写真：報告集会で弁護団の報告を聞く参加者のみなさん（虎ノ門スクエアにて）

## はっきりしたこと＝「債権者との約束を果たすため」に4要件を無視

傍聴された方から出された感想

片山元管財人と船尾弁護士とのやりとりは、全体として、裁判の性格をはっきりさせたと思います。片山氏には、整理解雇4用件など全く念頭にないこと、そして、ただただ「債権者との約束を果たすため」に首を切ったということ、このことがはっきりわかりました。路頭に迷う労働者のことなどは、全く頭にないことがよくわかりました。羽生証人はJALの労務部長らしい、旧態依然とした人間だなと思いました。小川さんの話は、交渉の経緯を明確にして、会社のデタラメぶりを明らかにするものであり、大変良かったと思います。最後の裁判長に訴える場面では、大変感動しました。

## 今後の日程

9月30日の座り込みに多数の参加をお願いします。また、裁判の傍聴、17:30～の報告集会への参加もよろしくお願いします。

### 9月26日(乗員裁判)

- 8:00～ 9:00 ビラと街宣車からの訴え
- 17:30～ 報告集会=虎ノ門スクエアにて  
証人：菊山元経営企画副本部長、醍醐教授  
清田(原告)、小川(日航乗組副委員長)

### 9月30日(客乗裁判)

- 8:00～ 9:00 ビラと街宣車からの訴え
- 9:30～12:45 稲盛会長の尋問に合わせて裁判所前で座り込み
- 17:30～ 報告集会=虎ノ門スクエアにて  
証人：稻盛日航会長、島崎(原告)、内田(CCU委員長・原告)